

■ 収支見通し(一般財源ベース)

現行税財制度を前提に歳入を見込み、歳出は各局の計画額(見込額)をベースに一定の調整を行い、收支見通しを算定したもの

(単位: 億円)

	20年度当初予算	21年度配分案	対前年度増減額
歳入(一般財源総額)	3,733	3,712	▲ 21
歳出	3,733	3,781	48
① 重点政策経費	167	150 + α	▲ 17
② 義務的経費	2,223	2,306	83
人件費	807	826	19
扶助費	439	464	25
公債費	958	992	34
その他の義務的経費	19	24	5
③ 局裁量経費	552	522	▲ 30
④ 区裁量経費	4	4	0
⑤ 個別調整案件	82	85	3
⑥ 特別・企業会計繰出金等	705	714	9
収支差額	0	▲ 69	

●重点政策経費の要求基準の考え方

平成21年度における重点政策経費については、150億円(前年度予算額の90%)+ α を確保しているが、要求基準を下記のとおりとし、柔軟に対応する。

- ・「平成21年度における重点課題」への対応策にかかる事業 所要額(シーリングは設けない)
 - ・継続事業 前年度予算額を上限

$170\text{億円} + \alpha$